

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	1 年		国語	国語・国語演習	3・2

年間指導目標
目に見える学力を育みながら目に見えない学力を育む。 基礎的基本的な国語の知識や技能を身につけ、言語文化に親しむ態度を養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	国語 『朝のリレー』 『竜』 『鯨の飲み水』 国語演習 - 言葉の単位	国語 - 詩の形式の理解・読解 - 小説の読解 - 説明文の読解 国語演習 - 文章、段落、文、文節、単語 ○学力推移調査過去問 ○漢字検定対策	国語 - 情景を想像しながら音読し、詩の構成や表現効果について考える。 - 登場人物の心情変化を捉える。 - 文章の構成や展開を捉える。 国語演習 - 言葉の規則と性質を理解する。
	後半	国語 『空中ブランコ乗りのキキ』 『一〇〇〇円の価値を考える』 『玄関扉』 国語演習 - 文の組み立て - 単語の種類 - 硬筆	国語 - 小説の読解 - 説明文の読解 国語演習 - 主語、述語、修飾語、接続語、独立語・連文節、並立、補助の関係 - 自立語と付属語、活用、品詞 ○硬筆 ○漢字検定対策	国語 - 登場人物の相互関係を捉える。 - 文章と図表を照らし合わせて捉える。 - 三角ロジックで読み取る。 国語演習 - 言葉の規則と性質を理解する。
2	前半	国語 『字のない葉書』 『「みんなでいるから大丈夫」の怖さ』 『食感のオノマトペ』 国語演習 - 動詞	国語 - 随筆の読解 - 説明文の読解 国語演習 - 動詞 ○学力推移調査過去問 ○漢字検定対策	国語 - 場面と行動描写を結びつけて、内容を捉える。 - 他の資料と結び付けて読み取る。 - 文章を図解して捉える。 国語演習 - 言葉の規則と性質を理解する。
	後半	国語 『竹取物語』 『意味と意図ーコミュニケーションを考える』 国語演習 - 動詞、形容詞、形容動詞 - 硬筆	国語 - 古典の読解 - 説明文の読解 国語演習 - 動詞、形容詞、形容動詞 ○硬筆 ○漢字検定対策 ○聞き取り問題	国語 - 仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。 - 必要な情報に着目して文章を要約する。 国語演習 - 言葉の規則と性質を理解する。
3	－	国語 『故事成語-矛盾』 『少年の日の思い出』 国語演習 - 名詞、副詞、連体詞 - 用言の活用	国語 - 漢文のルール - 小説の読解 国語演習 - 名詞、副詞、連体詞 - 用言 ○漢字検定対策	国語 - 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 - 登場人物の行動や心情について、自分の考えを確かなものにする。 国語演習 - 言葉の規則と性質を理解する。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	2年		国語	国語・国語演習	3・2

年間指導目標
目に見える学力を育みながら目に見えない学力を育む。 基本的学習習慣を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	○教科書 「名づけられた葉」 「セミロングホームルーム」 「人間は他の星に住むことができるのか」 ○文法の学習 接続詞、感動詞、用言の活用	○教科書 ・詩の形式の理解と読解 ・小説・説明文の読解 ○文法の学習 ・接続詞・感動詞の働きと種類 ・動詞・形容詞・形容動詞の活用 ○漢字検定対策 ○ベネッセ過去問演習	・詩に込められたものの見方を捉え、自分の考えを深める。 ・人物の設定の仕方を捉える。 ・文章を比較して、構成や論理の展開と表現の効果について考える。 ・言葉の規則と性質を理解する。 ・漢字と文法の知識をつける。
	後半	○教科書 「小さな手袋」 「平家物語」 ○書写 毛筆 ○文法の学習 敬語、助動詞	○教科書 ・小説と古典の読解 ○書写 ・点画の連続と省略の理解 ○文法の学習 ・敬語の働きと種類 ・助動詞の働きと種類	・主人公の言動の意図や心情を読み取る。 ・語句の意味を理解しながら音読し、古典のものの見方や感じ方を考える。 ・言葉の規則と性質を理解する。
2	前半	○教科書 「枕草子・徒然草」 「味は味覚だけでは決まらない」 「金継ぎの美と心」 ○文法の学習 助動詞	○教科書 ・評論と古典の読解 ・日本文学史(三大随筆) ○文法の学習 ・助詞の働きと種類 ○ベネッセ過去問演習 ○漢字検定対策	・三大随筆について学び知識を深める。 ・図表と文章を結びつけて筆者の考えを捉える。 ・例示の効果を意識しながら、筆者の主張を的確に把握する。 ・言葉の規則と性質を理解する。
	後半	○教科書 「短歌の世界」 「短歌十首」 「動物園でできること」 ○書写 毛筆 ○文法の学習 助詞	○教科書 ・評論と古典の読解 ○書写 ・筆順の変化の理解 ○文法の学習 ・助詞の働きと種類	・心情を表す表現や情景を捉え、短歌を味わう。短歌の作り方を理解する。 ・主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・言葉の規則と性質を理解する。
3	－	○教科書 「走れメロス」 「漢詩の世界」 ○書写 毛筆 ○文法の学習 助詞・助動詞・既習事項の復習	○教科書 ・小説と漢詩の読解・鑑賞 ○書写 筆順の変化の理解 ○文法の学習 ・助詞・助動詞の働きと種類	・場面の展開に即して登場人物の心情を捉える。人物像について自分の考えを深める。 ・漢詩の形式を理解する。漢詩の表現が、描かれた情景の中で果たす効果について考える。 ・言葉の規則と性質を理解する。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	3 年		国語	国語	4

年間指導目標
中学国語の基礎的な知識を修得するだけでなく、高等学校の学習で役立つ勉強への知識や姿勢を身につける。 目に見える学力を育みながら目に見えない学力を育む。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	○教科書 「俳句の世界」 「俳句十句」 「海を越えた故郷の味」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助動詞①、用言の活用	○教科書 ・ 韻文とは何か ・ 俳句の鑑賞 ・ 随筆文の読解 ○漢字検定対策 ○ベネッセ過去問演習	・ 俳句の決まりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・ 話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を読み取り、筆者の思いを捉える。 ・ 言葉の規則と性質を理解する。 ・ 漢字と文法の知識をつける。 ・ 演習問題に慣れ、実践的な読解力を身につける。
	後半	○教科書 「握手」 「和歌の世界一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 まぎらわしい品詞の区別 用言の活用	○教科書 ・ 小説の読解 ・ 古文に親しむ ・ 和歌の鑑賞 ○漢字検定対策	・ 小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。 ・ 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 ・ 漢字と文法の知識をつける。 ・ 言葉の規則と性質を理解する。
2	前半	○教科書 「フロン規制の物語」 「『ありがとう』と言わない重さ」 ○文法の学習 用言の活用、中学文法事項の総復習 ○日大一高過去問演習	○教科書 ・ 論説文の読解 ・ 随想の読解 ○入試問題演習 ○ベネッセ過去問演習 ○漢字検定対策	・ 文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・ 具体と抽象を意識しながら読み取る。 ・ 漢字と文法の知識をつける。 ・ 言葉の規則と性質を理解する。 ・ 演習問題に慣れ、実践的な読解力を身につける。
	後半	○教科書 「見たいものだけみる私たち」 「おくのほそ道」 ○文法の学習 用言の活用、中学文法事項の総復習 ○日大一高過去問演習	○教科書 ・ 論説文の読解 ・ 古文の読解と鑑賞 ○入試問題演習 ・ 論理的文章の読解（総まとめ） ・ 文学的文章の読解（総まとめ）	・ 「認知バイアス」について読み取り、簡潔にまとめる。 ・ 現代と比較するなどして、古文の文章に表れている作者のものの見方や考え方を捉える。 ・ 漢字と文法の知識をつける。 ・ 言葉の規則と性質を理解する。 ・ 演習問題に慣れ、実践的な読解力を身につける。
3	－	○教科書 「論語」 「故郷」 ○文法の学習 漢文の訓読 ○入試問題演習	○教科書 ・ 漢文（訓読文）の読み方 ・ 漢籍の鑑賞 ・ 小説の読解 ○入試問題演習 ・ 論理的文章の読解（総まとめ） ・ 文学的文章の読解（総まとめ）	・ 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えを持つ。 ・ 作品から読み取ったものの見方や考え方をもとに、人間関係や社会の関わり方について自分の意見を持つ。 ・ 一年間の総まとめとして、論理的文章、文学的文章（散文、韻文）の読解の仕方を復習する。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	1	－	国語	現代の国語	2

年間指導目標
「論理関係（言い換え・対比・因果関係など）」に着目して、論理的に読む能力を身につける。 副教材や過去問の演習を通じて、初見問題への解法を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◇随想『水の東西』 ◇評論『間の感覚』 ◇評論『無彩の色』	◇評論・論説文の読解	◇評論・論説文の読解の基本を習得する ◇指示語の指す内容を明確にして、正しい読み取りをする。 ◇対比されているポイントをつかみ、二項対立の文章の読み取りを習得する。
	後半	◇小説『羅生門』 ◇評論『ものとことば』 ◇評論『日本語は世界をこのように捉える』	◇小説文の読解・鑑賞 ◇評論・論説文の読解	◇小説文の読解と鑑賞の基本を習得する。 ◇具体と抽象など、論理的な文章の読解に必要なポイントを習得する。
2	前半	◇評論『本当の自分 幻想』 ◇小説『鏡』 ◇評論『「生きもの」として生きる』	◇小説文の読解・鑑賞 ◇評論・論説文の読解	◇登場人物の心理変化を読み取り、小説文の読解と鑑賞の仕方を習得する。 ◇評論・論説文の読解を深める。
	後半	◇評論『文化としての科学』 ◇評論『不均衡な時間』 ◇評論『A I は哲学できるか』	◇評論・論説文の読解	◇対比や因果関係などのポイントを理解し、評論・論説文の読解を深める。
3	－	◇評論『フェアな論争』 ◇評論『「私作り」とプライバシー』 ◇評論『デザインの本意』 基礎学力到達度テスト過去問演習	◇評論・論説文の読解	◇対比や因果関係などのポイントを理解し、評論・論説文の読解を深める。 ◇問題演習により、特に選択肢問題の解き方を習得する。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	1	－	国語	言語文化	3

年間指導目標
古文、漢文、詩歌の基礎知識を身につけ、読解力の向上を目指す

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◆古 文『児のそら寝』 ◆古 文『絵仏師良秀』 ○漢 文「漢文入門」	◆歴史的仮名遣い ◆動詞の活用（種類・活用形） ◆説話の文学史 ◆係り結びの法則（入門） ○漢文の基礎（漢文入門・返り点・書き下し文・置き字）	◆古文の基礎知識を習得する。 動詞の活用を習得する。 説話文学を通して古文に親しむ。 ○漢文の基礎である訓読および書き下し文を習得する。
	後半	◆古 文『ある人、弓射ることを習ふに』 ◆古 文『丹波に出雲といふ所あり』 ○漢 文『漢文入門』『漁夫の利』 ○漢 文『返読文字』『再読文字』	◆形容詞・形容動詞の活用 ◆反語（入門） ◆随筆の文学史 ○「返読文字」「再読文字」 ○書き下し文 ○否定形「不」	◆随筆文の読解を通して用言の活用を習得する。 ○漢文特有の句法を学習し、読解の初歩を習得する。
2	前半	◆古 文『伊勢物語』 ○漢 文『狐借虎威』 ○漢 文『否定形①』『使役形』	◆助動詞入門 ◆係り結び ◆和歌の基本 ◆歌物語・伝奇物語の文学史 ○否定形・使役形 ○反語形（訳のみ）	◆歌物語の読解を通して助動詞について理解する。 ◆係り結びについて理解する。 ○否定・使役の句法を習得する。
	後半	◆古 文『土佐日記』 ○漢 文『漢詩』	◆助動詞（推量系） ◆和歌の理解 ◆紀貫之に関わる文学史 ○漢詩の形式・知識事項	◆和歌と紀貫之についての理解を深める。 ◆推量系その他の助動詞について理解する。 ○漢詩の構造や表現技法の理解を深める。
3	－	◆古 文『奥の細道』 ●現代文『近現代の詩歌』 ○漢 文『論語』 ○漢 文『複合語』『同訓異字』 基礎学力到達度テスト過去問演習	◆文法の復習 ○複合語・同訓異字 ○再読・使役・否定 基礎学力到達度テスト過去問演習	◆文法事項の総復習をする。 ●近現代の詩歌を鑑賞する。 ○既習事項の復習と確認を行う。 ○儒学や諸子百家の考え方を学習する。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	2	日大進学クラス	国語	論理国語	3

年間指導目標
1 年次の学習内容に基づき、より難解な評論や小説を読み解く力を身に付ける。問題演習を通し、入試に必要な読解力も養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「胆力について」 評論「手の変幻」	◆さまざまなジャンルの評論文を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。 ◇文中に提起されている抽象度の高い問題について関心を持ち、自ら考える姿勢を身につけることで思考力を養う。
	後半	◆小説の読解 ◇評論の読解 ◎読解演習	小説「山月記」 評論「『内的成長』社会へ」	◆描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2	前半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「科学・技術の歴史の中での社会」 評論「疑似群衆の時代」	◇評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。
	後半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「「いき」の美学」 評論「文化が違う」とは何を意味するのか	◇評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。
3	－	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「意志と選択」	◇評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。 ◆難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	2	難関大進学クラス	国語	論理国語	3

年間指導目標
1 年次の学習内容に基づき、より難解な評論や小説を読み解く力を身に付ける。問題演習を通し、入試に必要な読解力も養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「胆力について」 評論「手の変幻」	◆さまざまなジャンルの評論文を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。 ◇文中に提起されている抽象度の高い問題について関心を持ち、自ら考える姿勢を身につけることで思考力を養う。
	後半	◆小説の読解 ◇評論の読解 ◎読解演習	小説「山月記」 評論「『内的成長』社会へ」	◆描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2	前半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「科学・技術の歴史の中での社会」 評論「疑似群衆の時代」	◇評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。
	後半	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「「いき」の美学」 評論「文化が違う」とは何を意味するのか	◇評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。
3	－	◇評論の読解 ◎読解演習	評論「意志と選択」	◇評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。 ◆難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	2	日大進学クラス	国語	古典探究	3

年間指導目標
基礎学力到達度テストで得点できるようになる。より一層の読解力を身につけ、本文解釈の精度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◎基礎学力到達度テスト対策 ○(選択)「大江山」十訓抄 (選択)「兼盛と忠見」沙石集 (選択)「用枝の筆簞」古今著聞集 ●書き下し文 ●再読文字・置き字	○用言の活用・係り結びの法則に注意して、本文の通釈を行う。 ○主な説話集を紹介する。 ●書き下し文の注意点・作り方・ひらがなに直す漢字の理解。 ●句法の理解。	◎問題演習を行う。 ○説話3文中、2文以上を選択。高1時学習内容の確認を主たる目的とする。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●高1時学習内容の確認を主たる目的とする。
	後半	○(必修)「宮にはじめて参りたるころ」枕草子 ○(選択)「初冠」伊勢物語 ○(選択)「通ひ路の関守」伊勢物語 ○(選択)「渚の院」伊勢物語 ●否定形(部分否定、全部否定)・使役形 ●否定形(二重否定)・受身形	○敬語法(敬語の種類・敬意を含む単語・同助動詞・同補助動詞)の習得。 ○本文の通釈を行う。 ○三大随筆・歌物語を紹介する。 ●既習の句法の定着。 ●新たに学習する句法の理解。	○伊勢物語は「初冠」・「通ひ路の関守」・「渚の院」のいずれかを選択 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●部分否定と全部否定・使役形については高1時学習済み。
2	前半	○(必修)「南院の競射」大鏡 ○(選択)「三船の才」大鏡 ○(選択)「光源氏の誕生」源氏物語 ●「漱石枕流」世説新語 ●疑問形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○歴史物語を紹介する ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○「三船の才」・「光源氏の誕生」のいずれかを選択。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習。
	後半	○(必修)「小柴垣のもと」源氏物語 ●「四面楚歌」史記 ●反語形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○作り物語を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	
3	－	○(必修)「うつろひたる菊」蜻蛉日記 ○(必修)「物語」更級日記 ○(選択)「俊成自讃歌のこと」無名抄 ●「性善」孟子 ●仮定形・限定形・累加形・比較形・比況形	○本文の通釈を行う。 ○女流日記文学を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○日記2文を必修。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	2	難関大進学クラス	国語	古典探究	3

年間指導目標
基礎学力到達度テストで得点できるようになる。より一層の読解力を身につけ、本文解釈の精度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◎基礎学力到達度テスト対策 ○(選択)「大江山」十訓抄 (選択)「兼盛と忠見」沙石集 (選択)「用枝の筆簞」古今著聞集 ●書き下し文 ●再読文字・置き字	○用言の活用・係り結びの法則に注意して、本文の通釈を行う。 ○主な説話集を紹介する。 ●書き下し文の注意点・作り方・ひらがなに直す漢字の理解。 ●句法の理解。	◎問題演習を行う。 ○説話3文中、2文以上を選択。高1時学習内容の確認を主たる目的とする。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●高1時学習内容の確認を主たる目的とする。
	後半	○(必修)「宮にはじめて参りたるころ」枕草子 ○(選択)「初冠」伊勢物語 ○(選択)「通ひ路の関守」伊勢物語 ○(選択)「渚の院」伊勢物語 ●否定形(部分否定、全部否定)・使役形 ●否定形(二重否定)・受身形	○敬語法(敬語の種類・敬意を含む単語・同助動詞・同補助動詞)の習得。 ○本文の通釈を行う。 ○三大随筆・歌物語を紹介する。 ●既習の句法の定着。 ●新たに学習する句法の理解。	○伊勢物語は「初冠」・「通ひ路の関守」・「渚の院」のいずれかを選択 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●部分否定と全部否定・使役形については高1時学習済み。
2	前半	○(必修)「南院の競射」大鏡 ○(選択)「三船の才」大鏡 ○(選択)「光源氏の誕生」源氏物語 ●「漱石枕流」世説新語 ●疑問形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○歴史物語を紹介する ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○「三船の才」・「光源氏の誕生」のいずれかを選択。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習。
	後半	○(必修)「小柴垣のもと」源氏物語 ●「四面楚歌」史記 ●反語形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○作り物語を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	
3	－	○(必修)「うつろひたる菊」蜻蛉日記 ○(必修)「物語」更級日記 ○(選択)「俊成自讃歌のこと」無名抄 ●「性善」孟子 ●仮定形・限定形・累加形・比較形・比況形	○本文の通釈を行う。 ○女流日記文学を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○日記2文を必修。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高校	3	日大進学クラス	国語	文学国語	3

年間指導目標
次の2点を指導の柱としながら、基礎学力到達度テスト（以下「基礎学」と略す）で生徒が得点できることを目指します。 （1）文学的文章を「表現に着目して読み深める方法」を指導すること。（2）副教材や過去問の演習を通じて、「初見問題への解法」を指導すること。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◇小説の読解 ◆小説問題を中心とした演習	◇井伏鱒二『山椒魚』 ◆「基礎学」対策の問題演習	◇「心情を表す言葉」に注目して、「その心情を持った理由」も明確にすることで、登場人物の心情を読み取りましょう。 ◆実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養しましょう。
	後半	◇小説問題を中心とした演習	◇「基礎学」対策の問題演習	◇実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養しましょう。
2	前半	◇小説問題を中心とした演習	◇「基礎学」対策の問題演習	◇「基礎学」形式の客観問題に慣れましょう。設問における選択肢選びの精度を上げていきましょう。そして、登場人物の心情を読み取りましょう。
	後半	◇小説の読解 ◆詩歌・小説の読解	◇夏目漱石『ころも』 ◆俳句、短歌、詩『永訣の朝』、梶井基次郎『檸檬』、安部公房『赤い繭』、村上春樹『クリーム』などの小説作品	◇登場人物の心情を読み取り、小説をより深く味わうために、「どのように書いているか」に注目したり、隠れた心情にも思いを巡らせたりしましょう。 ◆詩歌の決まりを知り、詩歌の一字一句まで精読し、奥深く広がりのある情緒を味わいましょう。
3	—			

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高校	3	難関大進学クラス	国語	文学国語	3

年間指導目標
小説を中心とした文学的な文章を読み深めることで文学的な感性や情緒を身に付ける。また、難関大の入試にも対応できる読解力を向上させる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	◇小説の読解 ◆問題演習	◇小説「山椒魚」 ◆入試問題演習①	◇作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深める。 ◆小説問題を中心とした問題演習を行い、小説特有の表現や技法についてより深く理解する。
	後半	◇問題演習	◇入試問題演習②	◇小説問題を中心とした問題演習を行い、小説特有の表現や技法についてより深く理解する。さらに、実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の内容についての周辺知識についても学ぶ。
2	前半	◇問題演習②	◇入試問題演習③	◇小説問題を中心とした問題演習を行い、小説特有の表現や技法についてより深く理解する。さらに、実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の内容についての周辺知識についても学ぶ。
	後半	◇問題演習③	◇入試問題演習③	◇小説問題を中心とした問題演習を行い、小説特有の表現や技法についてより深く理解する。さらに、実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の内容についての周辺知識についても学ぶ。
3	—			

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	3	日大進学クラス	国語	古典探究	3

年間指導目標
古文、漢文の問題演習を通して、基礎学力到達度テストで得点できるようになる。 ①知識：文法や句法、基本的な知識事項を習得する ②解く：過去問演習等を通して、初見の文章の読解に慣れる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習 仮定形・限定形・累加形・ 比較形・比況形	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語・古典文法 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳を使って重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習 複合語・同訓異字	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語・古典文法 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳を使って重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
2	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語・古典文法 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳を使って重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の読解 ●漢文の読解	○選択「ゆく河の流れ」方丈記 ○選択「花はさかりに」徒然草 ○選択「師の説になづまざること」玉勝間 ○選択「花」花月草紙 文学史・古文単語・古典文法 ●選択「廉頗・藺相如」史記 選択「荊軻」史記	○古文の読解を通して古語や古典文法の理解、習得を目指す。 ○1，2年次に学習した古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ●漢文の読解を通して、句形の理解と習得を目指す。
3	—	○古文の読解 ●漢文の読解	○●大学入学共通テスト・私大入試対策演習	○●入試に備えて、古文・漢文の過去問を解く。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	3	難関大進学クラス	国語	古典探究	3

年間指導目標
古文、漢文の問題演習を通して、大学入試共通テストの受験に備える。難関大の受験に向けてより一層の読解力を身につけ、本文解釈の精度を高める。 ①知識：文法や句法、基本的な知識事項を習得する ②解く：過去問演習等を通して、初見の文章の読解に慣れる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『共通テスト国語対策問題集』 文学史 古文単語・古典文法 ●『共通テスト国語対策問題集』	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
	後半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『共通テスト国語対策問題集』 文学史 古文単語・古典文法 ●『共通テスト国語対策問題集』	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
2	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『共通テスト国語対策問題集』 文学史 古文単語・古典文法 ●『共通テスト国語対策問題集』	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○単語帳から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
	後半	○古文の読解 ●漢文の読解	○●大学入学共通テスト・私大入試対策演習	○●入試に備えて、古文・漢文の過去問を解く。
3	—	○古文の読解 ●漢文の読解	○●大学入学共通テスト・私大入試対策演習	○●入試に備えて、古文・漢文の過去問を解く。